
「自然呼吸下の肺定位放射線治療における Volume Scan 4DCT を用いた合成画像の有用性についての検討」に関するお知らせ

このたび、当院で肺領域の定位放射線治療を行った患者さんの画像を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター 臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024年3月1日から2025年3月1日の期間に埼玉医科大学国際医療センターにて、肺領域におけるサイバーナイフを用いた自然呼吸下での定位放射線治療を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

自然呼吸下で取得する4DCT画像を用いて作成した合成画像が治療に適応可能かを後ろ向きに検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

検査、治療データ：治療を行うために取得したCT画像および、実際の放射線治療計画。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である長住一樹が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

肺領域におけるサイバーナイフを用いた自然呼吸下での定位放射線治療を実施する際に生じた

画像データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 長住 一樹（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

- ・埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 長住 一樹

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4192 内線 7099 放射線治療画像解析室（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：in1105 “AT” Saitama-med.ac.jp（“AT”を@に置き換えてください）

○研究課題名：自然呼吸下の肺定位放射線治療における Volume Scan 4DCT を用いた合成画像の有
用性についての検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 長住 一樹